

日本早期認知症学会誌

The Journal of
Japan Society for
Early Stage of
Dementia

第21回 日本早期認知症学会 in 浜松 プログラム・抄録集

会 期：2021年5月29日(土)・30日(日)

会 場：ホテルコンコルド浜松/Web開催

会 長：奥山 恵理子（株式会社 浜松人間科学研究所）

共同開催：日本生体医工学会 BME on Dementia 研究会



2021 Vol.14 No.2



発行 日本早期認知症学会

第21回 The 21st Annual Conference of Japan Society for Early Stage of Dementia 日本早期認知症学会

共同開催：(公社)日本生体医工学会 BME on Dementia 研究会

学 術 大 会

市民公開講座

会 期 2021年 **5月29日** ・**30日** 

ハイブリッド形式

会 場 現地会場：ホテルコンコルド浜松(雲海の間)
Web会場(参加登録者のみ)

大会長 奥山 恵理子 株式会社 浜松人間科学研究所

副大会長 大城 一 医療法人社団大法会 遠江病院
磯貝 聡 聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター
鈴木 みずえ 浜松医科大学 臨床看護学講座

事務局 (株) ヒューマンアロー

〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町124 マルHビル4階

TEL:053-457-1616 FAX:053-457-1459

E-mail: 21thjsesd@h-arrow.co.jp

共生と予防 実現への架け橋

INDEX

ご 挨 拶	1
大 会 組 織	2
会場のご案内	3
参加の皆様へ	4
大会日程表	7
プログラム	8
抄 録	
厚生労働省特別講演	19
ランチョンセミナー	21
教育講演	23
大会長指定シンポジウム	27
シンポジウム 1	33
シンポジウム 2	37
BME on Dementia 研究会	43
認知症関係当事者・支援者連絡会議 広報セッション	49
ランチタイムエクササイズ	51
市民公開講座	53
一般演題	55
一般演題筆頭演者 索引	93
後援団体一覧	94
協 賛 一 覧	95
日本早期認知症学会 役員一覧	96

ご 挨拶

第21回日本早期認知症学会学術大会

大会長 奥山 恵理子 株式会社 浜松人間科学研究所



このたび、第21回日本早期認知症学会の大会長を静岡県浜松市において開催させていただくことになりました。当初は2020年10月3日(土)～4日(日)の予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、2021年5月29日(土)～30(日)に延期させて頂くこととなりました。この延期により、参加のご準備いただきました方々には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。そして、多くの皆様から激励のお言葉を頂きましたことを心から御礼申し上げます。その後コロナ感染拡大の状況を考え、参加者が全国にまたがる大会を、会場を使ったりアルな大会のみで開催するのは難しいと判断し、会場とWEBのハイブリッド開催の大会とすることにいたしました。さらに三密を避けるために、会場を一か所とし、当初企画していた公開教育研修会は中止させていただき、またセッションの配置や名称も大きく変更させて頂きました。ご講演の準備を進めていらした皆様には改めてお詫び申し上げます。

ここで改めて、本大会の趣旨・特徴などを申し上げます。

本大会のテーマは2019年5月、厚生労働省は新オレンジプランの後継の認知症施策である認知症大綱の大項目に「共生と予防」を挙げられたことに由来します。これは、本学会の研究の守備範囲である「早期認知症」すなわち認知症発症前の段階から軽度認知症のレベルまでと合致しておりますので、「予防と共生 実現に向けての架け橋」を本大会のテーマといたしました。世界に先駆けて超高齢社会となったわが国においては、認知症の共生と予防を世界に先駆けて実践・研究し、その成果を発信する責務がありますが、日本早期認知症学会はその責務の一端を担う立場になります。

また、浜松で開催される本学術大会においては、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、鍼灸師、介護福祉士、日本老年精神医学会認定専門心理士、介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、行政担当職員、介護施設事業者、生体医工学研究者と広範な職種の方々が集い、学術大会を通して本大会のテーマにそって議論を深め、その成果をそれぞれの職域で反映されることを期待しております。同時に本学会の学会誌に投稿していただき、世界に発信できればと思います。

さらに大会会期終了後にも一定期間ではありますがオンデマンド配信を実施いたします。お仕事の都合上参加できなかった方々も、学びの機会がえられるように準備いたしました。ご活用くださいませ。

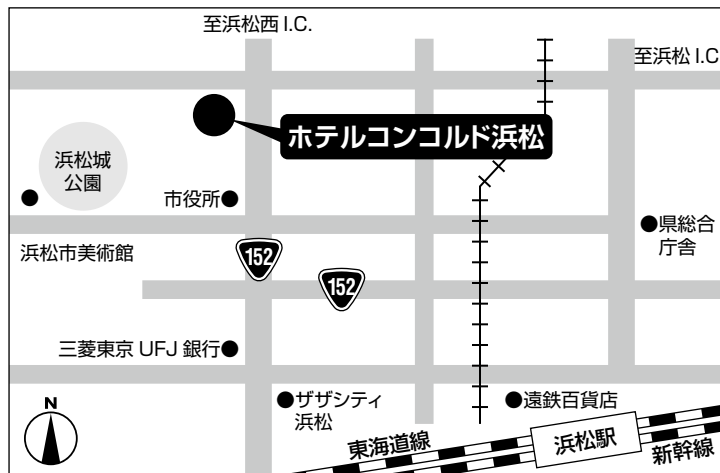
最後に、本大会本大会開催に至るまでには多くの方々にご協力、ご指導いただき、御礼申し上げます。コロナ禍の厳しい状況は続きますがそれぞれの方々のお立場で、本大会参加の成果がこれからの活動につながりますことを願っております。

大会組織

大会長	奥山 恵理子（株式会社 浜松人間科学研究所）
副大会長	大城 一（医療法人社団大法会 遠江病院） 磯貝 聡（聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター） 鈴木 みずえ（浜松医科大学）
顧問	大城 昌平（聖隷クリストファー大学） 志村 孚城（創生 生体医工学研究所） 宮嶋 裕明（浜松医科大学名誉教授、天竜厚生会診療所） 湯浅 龍彦（医療法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院 千葉神経難病医療センター）
事務局	
事務局長	坂神 文仁（株式会社 ヒューマンアロー）
副事務局長	菅野 真紀（株式会社 浜松人間科学研究所）
事務局補佐	山崎 洋道（株式会社 浜松人間科学研究所）
<実行委分担>	
運営担当	
実行委員長	金原 一宏（聖隷クリストファー大学）
副実行委員長	高橋 大生（聖隷クリストファー大学）
相談役	重森 健太（関西福祉科学大学）
実行委員	佐藤 文恵（有限会社きちっと きちっと居宅介護支援事業所） 竹中 恵子（JA 静岡厚生連 遠州病院） 吉村 浩美（日本看護協会看護研修学校）
広報・渉外担当	
総括	高柳 佳世子（創生 事業本部） 浅川 毅（東海大学） 磯貝 聡（聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター） 岡 考（医療法人社団オカニューロケアクリニック みしま岡クリニック） 小粥 正博（たまゆらメモリークリニック） 大城 一（医療法人社団大法会 遠江病院） 大塚 芳正（社会福祉法人美芳会） 大塚 芳子（社会福祉法人美芳会 特養風の杜） 小野 宏志（医療法人社団 心 坂の上ファミリークリニック） 酒井 直人（医療法人社団三友会 サカイ脳神経外科） 曾布川 美登理（株式会社 フォーリア） 福地 君朗（福地皮膚科クリニック） 森上 克彦（有限会社敬愛会 敬愛会介護支援センター） 山下 和彦（東都大学）
企画・抄録担当	
総括	金森 雅夫（立命館大学） 伊藤 友孝（静岡大学） 大杉 紘徳（城西国際大学） 合田 明生（京都橘大学） 佐藤 文恵（有限会社きちっと きちっと居宅介護支援事業所） 鈴木 みずえ（浜松医科大学）

会場のご案内

会場：ホテルコンコルド浜松 〒430-0946 静岡県浜松市中区元城町 109-18 TEL：053-487-0990



電車でお越しの方

◆ タクシー 約5分

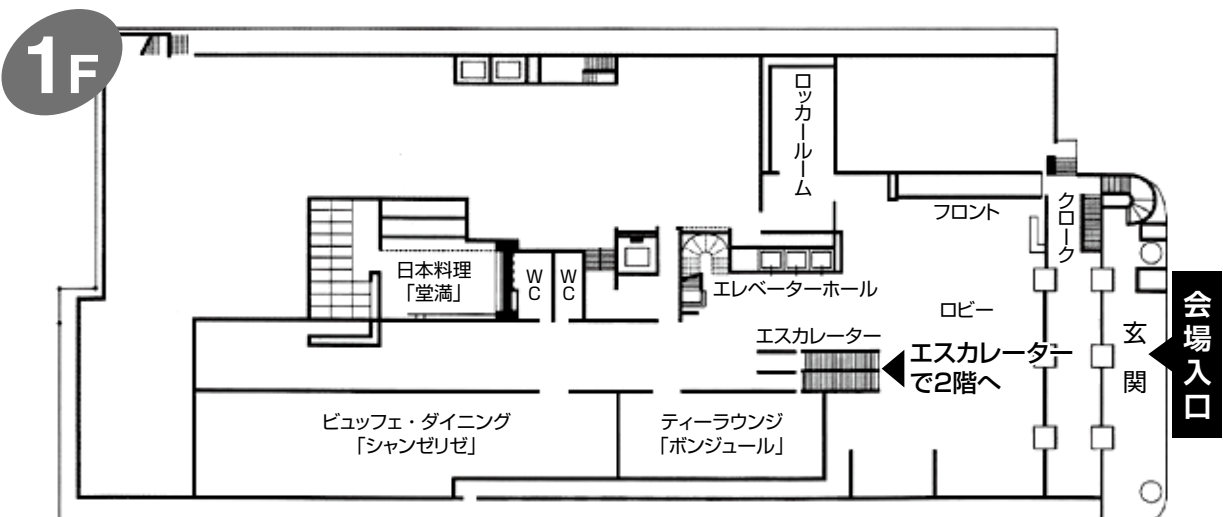
浜松駅にて下車・浜松駅北口 タクシー
乗り場にて乗車下さい

◆ バス 約10分浜松駅にて下車

遠鉄バス 浜松駅13のりば及び14のりば
の全便(循環まちバス く・る・るを除く)
「浜松城公園入口」にて下車 徒歩すぐ

高速道路をご利用の場合

- ・浜松西インターより車で約20分
- ・浜松インターより車で約20分



参加の皆様へ

第21回日本早期認知症学会は、現地開催（ホテルコンコルド浜松）とWeb会場とのハイブリッド形式で開催いたします。参加登録をされた方はどちらの学会にも参加できます。

<参加費>

	事前登録	当日受付
会員（医師・歯科医師・鍼灸師）	11,000円	13,000円
会員（医師・歯科医師・鍼灸師以外の方）	6,000円	8,000円
非会員（医師・歯科医師・鍼灸師）	12,000円	13,000円
非会員（医師・歯科医師・鍼灸師以外の方）	7,000円	8,000円
学 生	な し	2,000円

- ・ 現地開催：2021年5月29日（土）・5月30日（日）
 - ・ 現地会場：ホテルコンコルド浜松 2F 雲海の間
 - ・ Web ライブ配信：2021年5月29日（土）・5月30日（日）
 - ・ オンデマンド配信：6月7日（月）～6月28日（月）予定
- ※一般演題発表 は5月29日（土）～6月28日まで閲覧できます。

現地参加の皆様へ

1. 参加受付

- ・ 日時：2021年5月29日（土）8:30～
5月30日（日）8:30～
 - ・ 場所：ホテルコンコルド浜松 2F 雲海の間会場入り口前
- 当日も参加登録ができますが学生の方は当日参加のみです。受付時に学生証を提出してください。

2. 感染対策について

本学術集会では、政府、自治体、関係諸機関等から示される正確な情報の収集に努めるとともに、感染の防止に細心の注意を払い、実施して参ります。会場へお越しいただく皆様におかれましても、手洗いやマスクの着用・予備マスクのご用意など、感染防止対策へのご理解とご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。

感染防止対策の趣旨をご理解いただき、以下の通りご協力をお願いいたします。

- 1) 受付にて健康状態問診票を提出してください、また検温を実施いたします。体調が悪い方、体温が37度以上の方は参加をご遠慮願います。
- 2) 受付、会場内外にアルコール消毒液を設置いたします。
- 3) お昼の時間にランチョンセミナーを行いますが、感染症対策のためお弁当は提供いたしません。

3. 参加証と抄録誌について

できるだけ事前参加登録をお願いします。オンラインでの参加登録を5月9日までに完了された方には事前に抄録集と参加証を郵送いたしますので、必ずご持参ください。

抄録誌は当日、1部2,200円で販売しています。

当日受付でも参加登録ができます。抄録誌と参加証は当日受付時にお受け取りください。

4. その他

- 1) 会場内では必ずネームカード(参加証)を着用ください。着用されていない場合はスタッフよりお声掛けをさせていただく場合もあります。
- 2) 感染症対策のためクロークは開設いたしません, 貴重品や携帯電話、バッグなどはご自身で管理いただきますようお願いいたします。ホテル1階のコインロッカーをご利用できます。
- 3) 会場内での呼び出しはいたしません。
- 4) 会場内、会場施設敷地内は指定の場所以外は禁煙です。
- 5) 駐車場はホテルコンコルド内または近隣の駐車場をご利用下さい。
※駐車場の料金割引はありませんので、予めご了承ください。

Web 参加の皆様へ

1. 参加の方法について

Web 学会会場への入り口は大会ホームページのトップページに設けます。

<開設時間>

- ・日時：2021年5月29日(土)8:30～18:40
5月30日(日)8:30～17:10
- ・オンデマンド配信：6月7日(月)～6月28日(月)予定
※一般演題発表は5月29日(土)～6月28日まで閲覧できます。
※一部の演題はオンデマンドでは配信がありません。

2. 視聴方法について

参加登録が完了された方には、メールで Web 会場へのログイン ID をご連絡します。会期当日も参加登録はできます。必ず連絡がとれるメールアドレスを記載してお支払いをお願いします。会期中は何回でもいつでも視聴する事ができます。

3. 一般演題の発表について

- 1) 本会ではハイブリッド形式での Web 開催に伴い、一般演題は Web 学会会場での動画による発表となります。
- 2) 一般演題で発表される皆様には、発表スライドの音声付きデータ(以下データ)を事前に提出していただきます。
- 3) 一般演題の発表を視聴できるのは事前参加登録を完了された方のみとなります。
Web 会場の動画データは保護されており、視聴者がファイルをダウンロードしたり複写する事は一切できません。

研修単位修得について

本会に参加された方は以下の単位が取得できます。

1) 日本医師会生涯教育単位

1日目参加は6.5単位、2日目参加が5単位となります。2日間を通して11.5単位が付与されます。

※申請は本学会事務局から行います。(姓名+所属先+医籍番号)

2) 日本認知症ケア学会認知症ケア専門士単位

3単位が認められています。

※参加証を更新時に使用し、更新手続きを行うことで3単位が付与されます。

3) 日本老年精神医学会専門医単位

1単位が認められます。

※参加証を更新時に使用し、更新手続きを行うことで1単位が付与されます。

4) 日本老年精神医学会専門心理士単位

4単位が認められます。

※参加証を更新時に使用し、更新手続きを行うことで4単位が付与されます。

論文賞・若手奨励賞の表彰について

論文賞・若手奨励賞の表彰は5月30日(日)の表彰式・閉会式にて行います。

ビジネスミーティング

1) 理事会

5月28日(金) 19:30～20:30 ホテルコンコルド浜松「萩園の間」

2) 代議員会・総会

5月30日(日) 8:20～ 8:40 ホテルコンコルド浜松「銀木犀の間」

市民公開講座(入場無料：先着400席)

どなたでも参加できる無料の公開講座です。

ご参加には、事前申し込みが必要です。下記へお問合せください。

TEL.090-1412-0783(大会事務局 坂神)

1日目 5月29日土	
第1会場 雲海の間	
8:20	
9:00	9:00～9:30 開 会 式
10:00	9:30～10:00 厚生労働省特別講演 共生と予防を車の両輪とした 認知症施策の総合的な推進について 座長：金森 雅夫 演者：菱谷 文彦
11:00	10:15～12:10 シンポジウム 1 認知症の病態と対策： 脳神経内科の立場から 一沈着する異常蛋白質 座長：宮嶋 裕明 演者：宮嶋 裕明、松川 則之 瀧山 嘉久 共催：株式会社フォーリア
12:00	12:20～13:10 ランチョンセミナー 高齢者における不眠症の特徴とその治療 ～レンボレキサントへの期待を踏まえて～ 座長：岡 考 講師：水上 勝義 共催：エーザイ株式会社
13:00	
14:00	13:30～16:40 大会長指定シンポジウム 共生と予防 実現の架け橋 座長：奥山 恵理子、新井 平伊 趣旨説明：奥山 恵理子 1. 早期認知症の診断・治療・予防 演者：新井 平伊 2. 認知症の臨床とケアを結ぶ 演者：中村 祐 3. 早期認知症に関する看護の役割 ―実践とエビデンス― 演者：鈴木 みずえ 4. 早期認知症と予防のケアマネジメント 演者：遠藤 英俊 総括：新井 平伊 共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
15:00	
16:00	
17:00	17:10～18:40 BME on Dementia 研究会 共催セッション 高齢者医療・介護における生体医工学の応用 座長：伊藤 友孝、大杉 紘徳 演者：益子 岳史、重森 健太 植田 智裕、合田 明生
18:00	

2日目 5月30日日	
第1会場 雲海の間	
8:20～8:40	代議員会・総会 2階：銀木犀の間
9:00～10:20	シンポジウム 2 運動療法の最近の話題 座長：重森 健太 演者：重森 健太、合田 明生 中村 祐輔、石井 秀明
10:40～11:30	教育講演 1 認知症診療における画像診断の位置づけ 座長：大城 一 演者：磯貝 聡
11:50～12:35	認知症関係当事者・支援者連絡会議 広報セッション 認知症で日本をつなぐ そして世界へ 演者：認知症関係当事者・支援者連絡会議
12:35～12:45	ランチタイムエクササイズ 平安の森 リズム体操 ～楽しく身体と脳を活性化～ 共催：平安の森記念病院、介護老人保健施設平安の森
13:00～13:50	教育講演 2 老年科医からみた高齢者てんかん 座長：宮嶋 裕明 演者：入谷 敦 共催：第一三共株式会社
14:30～16:10	市民公開講座 認知症ポジティブ！ 本人・家族・専門職がみんな笑顔に！ 座長：宮嶋 裕明 演者：山口 晴保 共催：明治安田生命保険相互会社 浜松支社
16:20～16:50	表彰式・閉会式

プログラム

厚生労働省特別講演

厚生労働省特別講演

5月29日(土) 9:30～10:00

座長：金森 雅夫（立命館大学）

共生と予防を車の両輪とした認知症施策の総合的な推進について

菱谷 文彦（厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課 認知症総合戦略企画官）

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー

5月29日(土) 12:20～13:10

※ COVID-19 感染拡大防止の観点から会場内は飲食不可です。

座長：岡 考（みしま岡クリニック）

LS 高齢者における不眠症の特徴とその治療 ～レンボレキサントへの期待を踏まえて～

水上 勝義（筑波大学人間総合科学学術院 教授）

共催：エーザイ株式会社

教育講演

教育講演 1

5月30日(日) 10:40～11:30

座長：大城 一（遠江病院）

EL-1 認知症診療における画像診断の位置づけ

磯貝 聡（聖隷三方原病院 精神科、浜松市認知症疾患医療センター）

教育講演 2

5月30日(日) 13:00～13:50

座長：宮嶋 裕明（浜松医科大学名誉教授、天竜厚生会診療所）

EL-2 老年科医からみた高齢者てんかん

入谷 敦（金沢医科大学病院 認知症センター）

共催：第一三共株式会社

座長：奥山 恵理子（株式会社 浜松人間科学研究所）
新井 平伊（順天堂大学名誉教授、アルツクリニック東京）

〔 共生と予防 実現の架け橋 〕

趣旨説明 奥山 恵理子
株式会社 浜松人間科学研究所

PS-1 早期認知症の診断・治療・予防
新井 平伊
順天堂大学名誉教授、アルツクリニック東京

PS-2 認知症の臨床とケアを結ぶ
中村 祐
香川大学医学部 精神神経医学講座

PS-3 早期認知症に関する看護の役割 ―実践とエビデンス
鈴木 みずえ
浜松医科大学 臨床看護学講座

PS-4 早期認知症と予防のケアマネジメント
遠藤 英俊
いのくちファミリークリニック

総 括 新井 平伊
順天堂大学名誉教授、アルツクリニック東京

共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

〔 認知症の病態と対策：脳神経内科の立場から ―沈着する異常蛋白質― 〕

S1-1 α シヌクレイン関連疾患

宮嶋 裕明

浜松医科大学名誉教授、天竜厚生会診療所

S1-2 認知予備能の観点から、認知症予防を考える
―コリン作動性神経活性は、認知予備能に関与するか―

松川 則之

名古屋市立大学大学院医学研究科 神経内科学

S1-3 タウオパチー（進行性核上性麻痺と大脳皮質基底変性症）の今日的理解

瀧山 嘉久

山梨大学大学院総合研究部 医学域 神経内科学講座

共催：株式会社フォーリア

〔 運動療法の最近の話題 〕

S2-1 早期認知症分野における運動療法の整理

重森 健太

関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

S2-2 運動と脳に関する最近の話題

合田 明生

京都橘大学 健康科学部 理学療法学科

S2-3 要支援者の認知症予防に向けた運動療法

中村 祐輔

ベルピアノ病院 リハビリテーション室

S2-4 地域での認知症予防に向けた運動療法

石井 秀明

国際医療福祉大学 成田保健医療学部 理学療法学科

〔高齢者医療・介護における生体医工学の応用〕

BME-1 エアーセルクッションの体圧分布特性

○益子 岳史¹⁾、辰巳 功祐¹⁾、柿本 益志¹⁾、高野 純一²⁾

1) 静岡大学 工学部 機械工学科、2) 株式会社ウォーキング DAY

BME-2 Dual-task に最適な運動強度の検討 ―脳血流反応の視点から―

○重森 健太

関西福祉科学大学

BME-3 高齢者に対する抑制機能評価アプリケーションツール開発へ向けた予備的検証
―健常若年者の脳波 ERP 成分を用いた検討―

○植田 智裕¹⁾²⁾、兒玉 隆之¹⁾³⁾

1) 京都橘大学大学院 健康科学研究科、2) 岡山博愛会病院 リハビリテーション科、
3) 久留米大学 高次脳機能疾患研究所

BME-4 コミュニケーションロボットを使用したロボット介在療法が
高齢者の脳神経活動に及ぼす影響 ―認知機能低下の有無による比較検討―

○合田 明生¹⁾、志村 孚城²⁾、村田 伸¹⁾、兒玉 隆之¹⁾、中野 英樹¹⁾、大杉 紘徳³⁾

1) 京都橘大学 健康科学部 理学療法学科、2) 創生 生体医工学研究所、
3) 城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科

認知症で日本をつなぐ そして世界へ

- ・公益社団法人 認知症の人と家族の会
- ・全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会
- ・男性介護者と支援者の全国ネットワーク
- ・レビー小体型認知症サポートネットワーク

ランチタイムエクササイズ

ランチタイムエクササイズ

5月30日 12:35～12:45

平安の森 リズム体操 ～楽しく身体と脳を活性化～

共催：平安の森記念病院、介護老人保健施設平安の森

市民公開講座

市民公開講座

5月30日 14:30～16:10

座長：宮嶋 裕明（浜松医科大学名誉教授、天竜厚生会診療所）

認知症ポジティブ！ 本人・家族・専門職がみんな笑顔に！

山口 晴保（群馬大学名誉教授、認知症介護研究・研修東京センター長）

共催：明治安田生命保険相互会社 浜松支社

[症例報告 Case Study]

O-01 脳内占拠性病変で発症したアミロイドアンギオパチーの二例

○杉田 保雄¹⁾、加藤 誠也²⁾、大倉 章生²⁾、原武 譲二³⁾、岡本 右滋³⁾

1) 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院、2) 済生会福岡総合病院、3) 済生会八幡総合病院

O-02 心アミロイドーシスに伴う認知症状の症例報告

○土井 利江¹⁾、柴田 直人¹⁾、伊藤 洋二²⁾、河井 明子³⁾、奥山 恵理子³⁾、志村 孚城⁴⁾

1) 創生 入野倶楽部、2) 創生 富塚倶楽部、3) 浜松人間科学研究所、4) 創生 生体医工学研究所

O-03 Bowel Training と合理的な排便姿勢を組み合わせたケアにより改善し得た
認知症高齢者の慢性機能性便秘の一症例

○内藤 智義¹⁾、鈴木 みずえ¹⁾、岡田 栄作²⁾、中村 美詠子²⁾、尾島 俊之²⁾

1) 浜松医科大学 臨床看護学講座、2) 浜松医科大学 健康社会医学講座

[調査研究 Examination]

O-04 認知症患者における口腔内水分量と身体機能および認知機能との関連

○平尾 文¹⁾、平岩 和美¹⁾、谷川 良博¹⁾、笹谷 奈緒美²⁾、中村 萌子²⁾、田中 玲子²⁾、
山口 菜緒²⁾、迫井 瑞樹²⁾、隴本 躍子²⁾、村田 伸³⁾

1) 広島都市学園大学 健康科学部、2) PIA ナカムラ病院 介護老人保健施設まいえ、3) 京都橘大学

O-05 地域在住高齢者の認知機能別分類(健常 vs 軽度認知障害 vs 認知症)に加えた別軸の
「自律神経失調症」類型化の必要性：大規模地域調査データの後方視的検討

○東海林 美和子¹⁾、鈴木 利佳子¹⁾、川畑 伸子¹⁾、安保 英勇²⁾、山口 智¹⁾、目黒 謙一¹⁾

1) 東北大学 未来科学技術共同研究センター 高齢者高次脳医学研究プロジェクト、
2) 東北大学 教育学研究科 教育心理学

O-06 高齢者の自宅内転倒は、認知機能低下に伴い、住宅環境の影響を受けやすくなる

○菅原 智裕¹⁾、神崎 有希子²⁾、中野目 裕美²⁾、高田 純子¹⁾、東海林 美和子¹⁾、
熊居 慶一¹⁾、中村 馨¹⁾、佐々木 敦²⁾、牛渡 俊元²⁾、大友 和夫²⁾、中塚 晶博¹⁾、
目黒 謙一¹⁾

1) 東北大学未来科学技術共同研究センター 高齢者高次脳医学研究プロジェクト、
2) 浦谷町町民医療福祉センター

O-07 郊外地域在住高齢者における社会的フレイルの潜在的実態

○石川 健二¹⁾、大類 淳矢¹⁾、山田 善子²⁾、鹿野 佐和²⁾、斎藤 美幸²⁾、寺山 智子²⁾、
阿児 ゆかり²⁾、米田 亜由¹⁾

1) 大阪河崎リハビリテーション大学、2) 貝塚市山手地域包括支援センター

[COVID-19]

O-08 Zoom を用いた社内研修

○鈴木 尊子¹⁾、志村 孚城²⁾、高柳 佳世子¹⁾、石川 由貴子¹⁾、池谷 奈緒美¹⁾

1) 創生 事務本部、2) 創生 生体医工学研究所

O-09 コロナ禍における糖尿病／物忘れ予防の地域活動の変貌 — 教室開催から新聞発行へ —

○足立 克仁¹⁾、小川 哲也²⁾、小川 裕子²⁾、上田 圭介²⁾、吉村 俊二³⁾、高橋 祐子⁴⁾、
川井 尚臣⁵⁾、湯浅 龍彦⁶⁾

1) 医療法人緑会 小川病院 糖尿病／物忘れセンター 脳神経内科、2) 医療法人緑会 小川病院 内科、
3) 医療法人緑会 小川病院 理学療法科、4) 医療法人緑会 小川病院 管理栄養士、
5) 町立日和佐診療所 内科、6) 鎌ヶ谷総合病院 神経難病医療センター 脳神経内科

O-10 コロナ禍における当事者活動への影響、当事者への影響、活動の工夫、今後の展望 — 認知症関係当事者・支援者連絡会議 —

○原 等子¹⁾²⁾、小野寺 敦志¹⁾³⁾、奥山 恵理子¹⁾⁴⁾、津止 正敏¹⁾⁵⁾、宮永 和夫¹⁾³⁾、
長澤 かほる¹⁾⁴⁾、森 寛昭¹⁾⁵⁾、梅原 早苗¹⁾³⁾、布施 美幸¹⁾⁴⁾、西野 玲子¹⁾⁵⁾、
内山 順夫¹⁾⁵⁾、鎌田 松代¹⁾²⁾、鈴木 森夫¹⁾²⁾

1) 認知症関係当事者・支援者連絡会議、2) 公益社団法人認知症の人と家族の会、
3) 全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会、4) レビー小体型認知症サポートネットワーク、
5) 男性介護者と支援者の全国ネットワーク

O-11 コロナ禍における在宅ケアマネジメントと地域ネットワークづくり実践報告

○佐藤 文恵¹⁾、森上 克彦²⁾、奥山 恵理子³⁾、菅野 真紀³⁾

1) 有限会社きちと きちと居宅介護支援事業所、2) 敬愛会介護支援センター、3) 居宅介護支援事業所恵

O-12 COVID-19 流行下における通所型介護予防事業参加高齢者の認知機能および 身体機能低下の自覚とフレイルとの関連性

○金盛 琢也、鈴木 みずえ、内藤 智義、稲垣 圭吾

浜松医科大学医学部 看護学科 臨床看護学講座

[画像診断 Diagnostic Imaging]

O-13 SPECT とアミロイド PET を行った AD 患者 7 名の比較検討報告

○篠原 豊明

医療法人社団篠原会 甲府脳神経外科病院

[運動療法 Exercise Therapy]

O-14 うつ症状が Dual-task 中の脳血流に与える影響

○前河 知佳¹⁾、中村 祐輔¹⁾、上田 渉²⁾、佐伯 帆乃香²⁾、重森 健太³⁾

1) 社会医療法人生長会 ペルピアン病院、2) 株式会社オトバンク、
3) 関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻

O-15 重度認知症患者の痛みに対する包括的コミュニケーションと運動療法

○水野 千秋¹⁾²⁾、梅本 修央¹⁾、金原 一宏²⁾、高山 真希²⁾、佐久間 俊輔²⁾³⁾、河瀬 智文²⁾⁴⁾、河合 洋輔²⁾³⁾、俵 祐一²⁾、有蘭 信一²⁾

1) 社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院、2) 聖隷クリストファー大学大学院、3) 寺田痛みのクリニック、4) 医療法人社団アールアンドオー 静岡リハビリテーション病院

O-16 運動強度設定の違いが dual-task 中の脳血流に及ぼす影響

○中村 祐輔¹⁾、前河 知佳¹⁾、重森 健太²⁾、佐伯 帆乃香³⁾、上田 渉³⁾

1) 生長会 社会医療法人 ベルピアノ病院、
2) 関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻、
3) 株式会社オトバンク

[運転 Drive]

O-17 地域在住高齢者および「もの忘れ外来」初診患者における運転と QOL との関係

○熊居 慶一¹⁾、藤原 由貴²⁾、鈴木 利佳子¹⁾、東海林 美和子¹⁾、葛西 真理¹⁾、中村 馨¹⁾、山口 智¹⁾、厚東 知成¹⁾、山本 康典²⁾、目黒 謙一¹⁾

1) 東北大学 未来科学技術共同研究センター 高齢者高次脳医学研究プロジェクト、
2) マツダ株式会社 技術研究所 先進ヒューマン・ビークル研究部門

O-18 認知機能が低下した高齢者の運転事故は、本人の自覚するヒヤリの数と特徴に関係する

○鈴木 利佳子、熊居 慶一、狩野 めぐみ、東海林 美和子、山口 智、目黒 謙一

東北大学 未来科学技術共同研究センター 高齢者高次脳医学研究プロジェクト

[薬物療法 Drug Therapy]

O-19 ノビレチン高含有陳皮エキス製剤の物忘れ感に対する影響 ーランダム化比較対象試験プロトコール

○厚東 知成¹⁾、熊居 慶一¹⁾、東海林 美和子¹⁾、堀越 歩¹⁾、木之村 重男²⁾、山國 徹¹⁾、目黒 謙一¹⁾

1) 東北大学未来科学技術共同研究センター 高齢者高次脳医学研究プロジェクト、
2) 特定非営利活動法人 画像医学と脳健診

O-20 薬剤師の居宅療養管理 生活に寄り添った薬物療法を目指して

○鈴木 詩織、曾布川 美登里

薬局フォーリア

[非薬物療 Non-drug Therapy]

O-21 仲間作りで MMSE や SO 法が改善した症例

○伊藤 洋二¹⁾、床並 京子¹⁾、田村 律子¹⁾、高岡 みや子²⁾、菅野 真紀²⁾、奥山 恵理子²⁾、志村 孚城³⁾

1) 創生 富塚倶楽部、2) 浜松人間科学研究所、3) 創生 生体医工学研究所

O-22 保育園児との交流の効果

○山下 光代¹⁾²⁾、奥山 太山¹⁾、宮下 聖依¹⁾、志村 孚城³⁾

1)創生 佐鳴台倶楽部、2)創生 富塚倶楽部、3)創生 生体医工学研究所

O-23 色情報が認知症高齢者に与える影響に関する文献レビュー

○稲垣 圭吾

浜松医科大学 医学部看護学科 臨床看護学講座(老年看護学)

O-24 若年性認知症の人に働く場を提供したことの効果

○水野 修治¹⁾、伊藤 洋二²⁾、池谷 奈緒美³⁾、鈴木 尊子³⁾、袴田 和道²⁾、高柳 佳世子³⁾、奥山 恵理子⁴⁾、志村 孚城⁵⁾

1)創生 富塚中央倶楽部、2)創生 富塚倶楽部、3)創生 事務本部、4)浜松人間科学研究所、5)生体医工学研究所

O-25 医療介護現場における、鏡と自画像描画・化粧用具を用いた化粧療法的アプローチの工夫について

ーバウムテストによる認知症高齢者の自己表出欲求の分析を考察の手がかりとしてー

○水谷 啓子¹⁾、浅井 大輔¹⁾、田代 裕子¹⁾、増井 愛花¹⁾、青嶋 ひろ子¹⁾、松井 由美¹⁾、伊島 正次¹⁾、井上 淳²⁾、大城 一¹⁾

1)医療法人社団 大法会 遠江病院、2)浜松医科大学 児童青年期精神医学講座

[医介ケアマネ連携 Medical / Care / Caremanagement Cooperation]

O-26 浜松市における認知症初期集中支援事業(認知症初期集中支援チーム)について

○深田 典子

浜松市役所 健康福祉部 高齢者福祉課医療・介護連携推進グループ

O-27 認知症初期集中支援チームから開始した症例

○高柳 佳世子¹⁾²⁾、奥山 太山²⁾、菅野 真紀³⁾、奥山 恵理子³⁾

1)創生 山の手倶楽部、2)創生 佐鳴台倶楽部、3)居宅介護支援事業所 恵

O-28 「共生と予防」に向けた自立支援を目指すケアマネジメントの現状

○菅野 真紀、奥山 恵理子

浜松人間科学研究所 居宅介護支援事業所恵

O-29 超高齢社会の到来と認知症を身近なものに：大学の教育・地域活動の事例報告

○河村 洋子

産業医科大学 産業保健学部 安全衛生マネジメント学講座

O-30 成年後見制度の運用における課題(認知症患者を受任する後見人の立場から)

○森上 克彦

敬愛会介護支援センター

O-31 高齢者のバウムテスト

—Mini-Mental State Examination (MMSE) との比較研究—

○浅井 大輔¹⁾、水谷 啓子¹⁾、田代 裕子¹⁾、増井 愛花¹⁾、松井 由美¹⁾、井上 淳²⁾、大城 一¹⁾

1) 医療法人社団 大法会 遠江病院、2) 浜松医科大学 児童青年期精神医学講座

O-32 アルツハイマー型認知症への進展予測における
Mini-Mental State Examination の有用性

○金井 光康、島崎 裕子、森田 詠子、大崎 充子、木村 紘平、美原 盤

公益財団法人 脳血管研究所美原記念病院 認知症疾患医療センター

O-33 MCI 以前の認知症のスクリーニングに適する CKPT の診断基準値

○志村 孚城¹⁾、奥山 恵理子²⁾、大杉 紘徳³⁾、鈴木 尊子⁴⁾

1) 創生 生体医工学研究所、2) 浜松人間科学研究所、3) 城西国際大学、4) 創生 事業本部

O-34 一般病棟における認知症患者の攻撃的行動を未然に防ぐ支援の検討(第2報)
—認定看護師・専門看護師の実践に焦点を当てて—

○岡本 聡美、小山 幸代

北里大学看護学部 生涯発達看護学領域 老年看護学分野

O-35 通所介護事業所における看護職の役割 創生の取り組みと実績

○床並 京子¹⁾、田村 律子¹⁾、木村 たつよ¹⁾、土井 利江²⁾、内山 貴子³⁾、石川 由貴子⁴⁾、高柳 佳世子⁴⁾、志村 孚城⁵⁾

1) 創生 富塚倶楽部、2) 創生 入野倶楽部、3) 創生 佐鳴台倶楽部、4) 創生 事業本部、
5) 創生 生体医工学研究所

O-36 いきいきデイ開設後の推移【デイサービス利用による効果について】

○奥山 太山¹⁾、宮下 聖依¹⁾、内山 貴子¹⁾、山下 光代¹⁾、高柳 佳世子²⁾、奥山 恵理子³⁾、志村 孚城⁴⁾

1) 創生 佐鳴台倶楽部、2) 創生 山の手倶楽部、3) 浜松人間科学研究所、4) 創生 生体医工学研究所

O-37 認知症に関連する相談分析と今後の展望

～浜松市在宅医療・介護連携相談センター(在宅連携センターつむぎ)の相談より～

○水崎 和子、藤原 真理絵、高井 智生、清水 麻子

浜松医療センター 在宅医療・介護連携相談センター

Handwriting practice lines consisting of 28 horizontal dashed lines.

厚生労働省特別講演

共生と予防を車の両輪とした
認知症施策の総合的な推進について

座長：金森 雅夫（立命館大学）

演者：菱谷 文彦（厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課 認知症総合戦略企画官）



共生と予防を車の両輪とした認知症施策の総合的な推進について

菱谷 文彦

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課 認知症総合戦略企画官

略 歴

2000年

厚生労働省入省
以来、衛生行政、児童福祉行政などを
担当したほか、経済産業省、内閣府に
出向。

2011年

厚生労働省政策統括官付社会保障担当
参事官室室長補佐

2012年

愛媛県経済労働部労政雇用課長

2014年

厚生労働省職業安定局派遣・有期労働
対策部企画課長補佐

2015年

医薬・生活衛生局総務課長補佐

2016年

大阪府福祉部介護支援課長

2018年

厚生労働省人材開発統括官付訓練企画
室長

2019年

厚生労働省政策統括官（統計・情報政
策、政策評価担当）付統計・情報総務
室企画官

2020年

厚生労働省新型コロナウイルス感染症
対策本部

2020年

厚生労働省老健局認知症施策・地域介
護推進課認知症総合戦略企画官

わが国における65歳以上の高齢者人口は、平成30（2018）年10月1日現在で3,558万人、高齢化率は28.1％にのぼり、令和24（2042）年頃にピークを迎えると推計されています。認知症高齢者の人数についても、平成24（2012）年時点の約462万人から令和7（2025）年には約700万人にまで増加すると推計されています。

今後更なる高齢化の進展と認知症高齢者の増加が見込まれる中で、認知症の人や家族をはじめとした様々な関係者からの意見聴取などを行いながら政府において検討が行われ、令和元（2019）年6月に「認知症施策推進大綱」がとりまとめられました。

大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進していくこととしています。

こうした基本的な考え方は、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」を目指し、その障壁を減らしていく「認知症バリアフリー」等の取組を進めていくとともに、「共生」の基盤の下、通いの場の拡充などの「予防」の取組を進めることとしたものです。

また、大綱では、①普及啓発・本人発信支援、②予防、③医療・ケア・介護サービス・介護者への支援、④認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人の支援・社会参加支援、⑤研究開発・産業促進・国際展開、の5つの柱に沿って施策を推進することとし、これらの施策はすべて認知症の人の視点に立って、認知症の人やその家族の意見を踏まえて推進することを基本としています。

講演では、こうした大綱をはじめとした国の施策がどのような方向性で進められているのかについて紹介させていただきます。

一般演題

O-01 脳内占拠性病変で発症したアミロイドアンギオパチーの二例

○杉田 保雄(すぎた やすお)¹⁾、加藤 誠也²⁾、大倉 章生²⁾、原武 譲二³⁾、
岡本 右滋³⁾

1) 社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院、2) 済生会福岡総合病院、3) 済生会八幡総合病院

【目的】脳アミロイドアンギオパチー(CAA)は脳皮質および髄膜の中小の血管にアミロイド β が沈着した病態であり、その病態はアルツハイマー型認知症の発症に深く関係している。私共は認知症患者において脳内占拠性病変で発症したアミロイドアンギオパチーの二例を経験して興味ある知見を得たので報告する。

【症例1】76歳、女性。認知症の既往がある。右上下肢麻痺で発症した。MRIで左前頭葉にT1強調画像で等信号病変(中心部は高信号)、T2強調画像で高信号病変(中心部は低信号)が認められた。造影効果はみられなかった。低異型度グリオーマの腫瘍内出血の診断で摘出術が行われた。病理組織診断では出血を伴ったCAA病変が髄膜から皮質下に及んでおり、多数の老人斑がみられた。

【症例2】77歳、女性。認知症の既往がある。右上下肢麻痺で発症した。MRIで両側前頭および後頭葉にT1強調画像で低信号病変、FLAIR像で高信号病変が認められた。低異型度グリオーマの診断で生検術が行われた。病理組織診断ではCAA病変が髄膜から皮質下に及んでおり、マクロファージの集簇を伴った血管炎所見がみられた。

【考察】症例1はCAAに伴った亜急性期の分葉出血病変であった。本例の様に認知症患者において緩徐に神経症状が出現した場合にはCAAの脳内出血病変の発症を見過ごす可能性がある。症例2はCAA関連の炎症病巣であり、アミロイド β 関連血管炎(A β V)と診断された。一般的にA β Vでは自験例の様に白質を中心としたT1強調画像で低信号病変、T2およびFLAIR像で高信号病変を示すとされる。また病変の造影効果はみられない。しかし、病巣周囲の高度の浮腫と造影効果を示す悪性グリオーマとの鑑別困難例も報告されている。

【結論】高齢者のアルツハイマー型認知症患者ではCAAが合併している確率が高い。それゆえに認知症患者に携わる医療スタッフはCAA関連の占拠性病変、言い換えれば認知症患者における偽脳腫瘍の存在を認識すべきである。

【倫理的配慮】分析したデータは匿名化され、個人が特定されないことがないよう処理した。

日本早期認知症学会誌 *Journal of Japan Society for Early Stage of Dementia (JESD)*

Vol.14, No.2

2021年5月6日発行 発 行 日本早期認知症学会
<http://www.jsed.jp>

事務局 〒434-0012 静岡県浜松市浜北区中瀬3832-1
医療法人社団大法会 遠江（とおとうみ）病院内
Tel：053-588-1880 Fax：053-588-2513
E-mail：jsedjim@jsed.sakura.ne.jp

定価

（税込価格2,200円）

振替口座 00150-1-633014

※本誌内容の無断複写・転載は著作権法上で禁じられています。本誌に掲載された著作物の複製・翻訳・上映・譲渡・公衆送信（データベースへの取込および送信可能化権を含む）に関する許諾権は、日本早期認知症学会が保有しています。